

# 3学期始業式

令和3年1月6日(金)

3学期始業式は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、放送にて執り行いました。



## 校長式辞

### 「善く生きること」～ソクラテスの言葉～

年始の恒例行事である「箱根駅伝」。彼らの走る姿に感動を覚えるのはなぜでしょうか。それは彼らの走る姿がこれまで「精一杯努力を続けてきた姿の現れ」だからではないかと思うのです。彼らの「ひたむきに取り組む姿」が感動させるのだと思います。

皆さんはどうなのでしょう。

「やる気を見せる」ことは格好悪いと思いますか。

先行きの見えない不安な時代だからこそ「自分はどう生きるか」「自分は何のために生きるのか」という生きる指針としての哲学をしっかりと心に抱くことが必要です。

ソクラテスはただ生きるのではなく「善く生きること」が大事だと言いました。「自分の魂をより優れた善なるものにする」と言っています。自分の信念に従い、誤魔化したりせず、誠実に生きよということでしょうか。

皆さんには、毎日の自分のやるべきことに真剣に向き合っているか、行動しているか、振り返ってほしい。そして、真剣に向き合い「自分の生き方」を見つけてほしいと思います。(一部抜粋)

## 「学ぶということ」



みなさんの中には、「なぜ学ぶのか」や「学校の勉強が何の役に立つのか」と疑問に思う人がいるかもしれません。みなさんが論理的な思考力を培うためには、偏りなく学習することがとても重要になります。日々の授業で学んでいる「教科」には、生きる上で重要なヒントや知恵、考え方がたくさん含まれています。「基礎的な学び」あつての「創造」なのです。

このような理由から学校では、みなさんの将来の可能性を広げるために、いろんな勉強をします。この一年が、「ギュウ」と中身が詰まった一年だったといえるように、日々の「授業」を大切にして、視野を広げましょう。

このように理由から学校では、みなさんの将来の可能性を広げるために、いろんな勉強をします。この一年が、「ギュウ」と中身が詰まった一年だったといえるように、日々の「授業」を大切にして、視野を広げましょう。

## 「無駄のない時間を過ごすこと」

キャリア教育部からは、これまでの進路状況とこれからの皆さんへ期待する行動について話をします。まずは、3年生の進路状況です。これは、3年生だけでなく、1・2年生の皆さんも気になっているのではないのでしょうか？学校求人での就職希望者につきましては、年内で100%の内定をいただくことができました。

進学希望者につきましても、約95%の合格をいただいています。このような状況ですが、3年生には更に気を引き締め、1・2年生の模範となるような行動を期待します。1・2年生の皆さんは、コロナ禍で先の見えない日々が続く不安もあるでしょうが、毎日を真剣に取り組む積み重ねることが、成功のための準備になると思います。

1日1日を無駄にせず、しっかりとした生活を送ってください。



## 学事部より

## キャリア教育部より



放送での始業式後、各学年で集会やホームルームが行われました。

3年生は間近に迫る卒業、そして社会への旅立ち。

2年生は最上級生、1年生は中核学年としての心構え。

それぞれの学年がこの3学期、そして新しい年をどのように過ごしていくのかを考えながら、新しい一歩を踏み出しました。